



野外での過酷な環境下にて動作する製品です。
定期的にテストを実施し、正常動作することを確認してください。

■ センサーの汚れ

光センサー、距離センサー、温度センサーはいずれも、レンズ部分の汚れで誤反応を起こすことがあるため、泥などは布で拭き取るようにしてください。

■ 電池交換

電源を入れた時、1分間音とランプが点滅したらバッテリー切れです。
新しい電池に交換をしてください。

「故障かな？」という時

■ 誤捕獲した！場合

- ➔ 距離センサーの調整ができていない
距離テストで再設定してください
- ➔ センサー下に餌の山ができていない
センサーより少し奥にエサを置いてください
- ➔ 鳥に反応して落下
シカ・イノシシの場合、捕獲モードを【夜】にして使用

■ 捕獲出来ない！場合

- ➔ センサーが汚れている
布で拭き取るようにしてください
- ➔ 電池がない
電池を交換してください

修理を依頼される前に、まずご自身でテストモードで全てテストをおこなってください。
テストされた上で、異常のある場合はお問合せください。

問い合わせ先 株式会社アイエスイー

〒516-0802 三重県伊勢市御園町新開 80 番地 大西ビル 301 号
TEL : 0596-36-3805 FAX : 0596-36-3847 E-mail : info@ise-hp.com

本製品の保証について

1. この取り扱い説明書は保証書と兼用になっております。
ご購入日より6ヶ月間*、保証書をご提示いただくことで無償修理、同等製品との交換をおこないます。

※ご愛用者登録カード（製品に同封のハガキ）をご返送いただいた場合は、保証期間1年間となります。

2. 保証（修理）申込みの際は納品書も必ず一緒にご提示ください。

3. 次の場合は保証期間内でも保証対象外となります。
*使用上の誤り、改造などをされた場合。
*お客様による落下、高温多湿などの劣悪な場所での保管による故障や損傷。
*動物による破壊や火災、地震、落雷などの天災による故障や損傷。

アニマルセンサー LITE 保証書

持込修理

品名	アニマルセンサーLITE
型式	AMSL-100
S/N	ASL-S _____ <small>※製品外箱および本体BOX内部に表示されています。</small>
保証期間	納入日から6ヶ月
納入日	年 月 日
お客様	
取扱販売会社	

ICT 獣サイズ判別センサー式自動捕獲システム ライト
アニマルセンサー LITE 特許第5696997号
取扱説明書



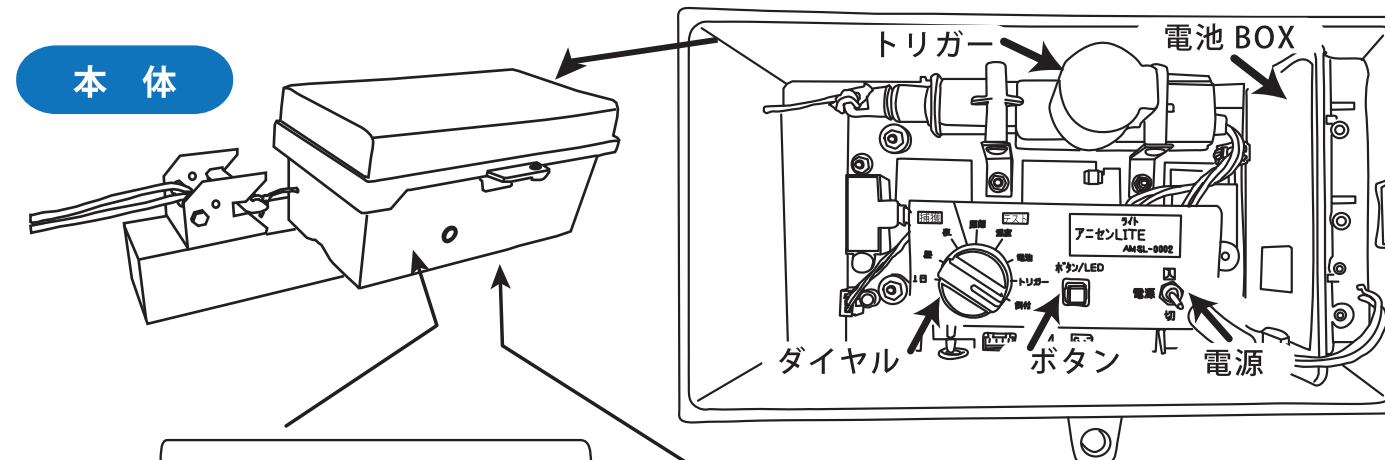
ご使用前に説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
誤った使い方は重大な事故につながる危険性があります。

安全上のご注意 必ずお読みください

- 電源スイッチが「入」での電池交換は故障破損の原因となりますので、必ず「切」の状態でおこなってください。
- センサーボックス内に水を入れしないでください。故障破損の原因となります。
- 当製品の改造は非常に危険ですでおこなわないでください。

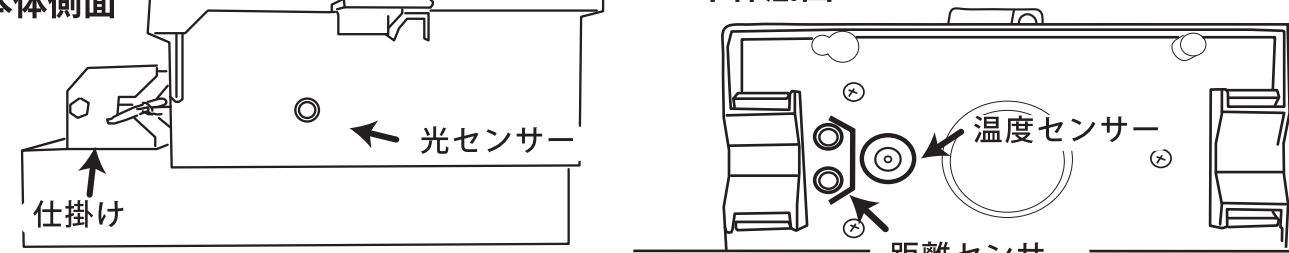
各部のなまえ

ボックス内部

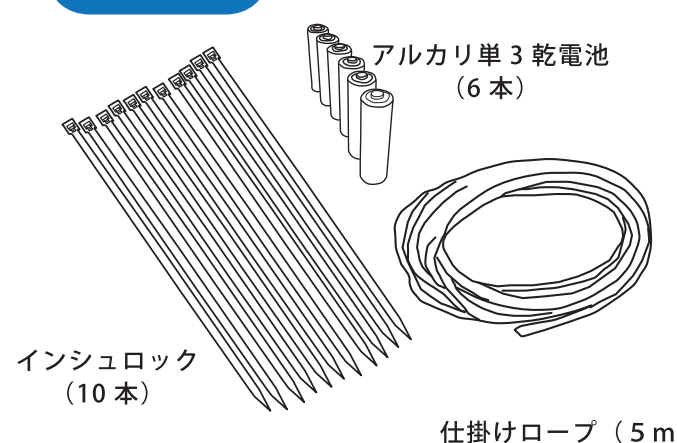


本体側面

本体底面



付属品



充電電池の使用について

充電電池の使用は可能です。
ただし以下の点についてご注意ください。
◆ 電池残量表示は、満充電でも3回点滅（やや満タン）となる場合があります。電池の持ちは、アルカリ電池とほぼ同じです。
◆ 電池低下により、トリガーの引っ張りが弱くなる可能性があります。
※ 引っ張りが弱いとトリガーが途中でつかえてしまい、ゲートが落下しない場合があります。その場合は、仕掛けを浅くかけるなどして、なるべく軽く仕掛けが外れるようにしてください。

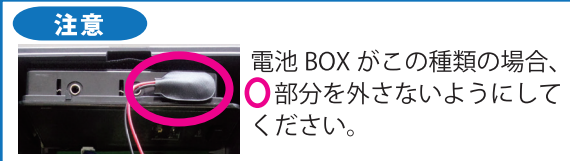
ご使用の前に

電池の出し入れ方法

- 1 電源が「切」になっていることを確認する。
- 2 電池 BOX を取り出す。
- 3 電池 BOX の蓋を外し、電池をセットし、蓋を閉める。
- 4 元のところに戻す。



POINT
矢印の方向へ押しとマジックテープが外れて、電池BOXが取り出せるようになります。



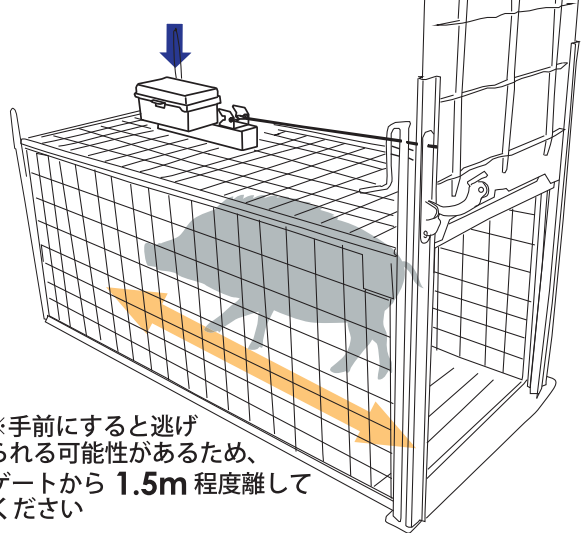
注意

電池BOXがこの種類の場合、○部分を外さないようにしてください。

設置と仕掛け方法

配置

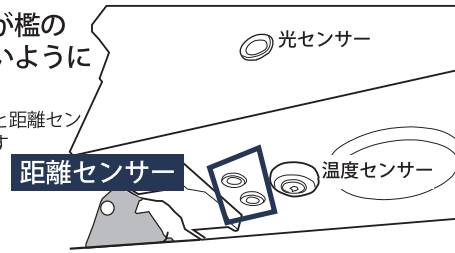
檻の中心から少し奥に配置



※手前になると逃げられる可能性があるため、ゲートから1.5m程度離してください

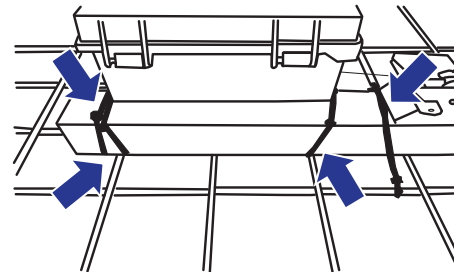
置き方のポイント

距離センサーの位置が檻のメッシュにかからないように配置
※メッシュとかぶってしまうと距離センサーの設定ができなくなります



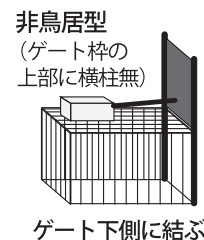
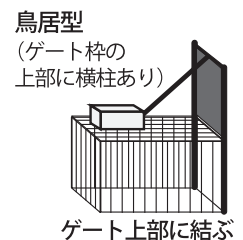
固定方法

付属のインシュロックや番線を使用し本体を固定してください



仕掛けのつけ方

- 1 ロープをゲートに結ぶ
- 2 ロープのもう片方で輪をつくり、仕掛けにかける
- 3 仕掛けを押さえパネルで固定する

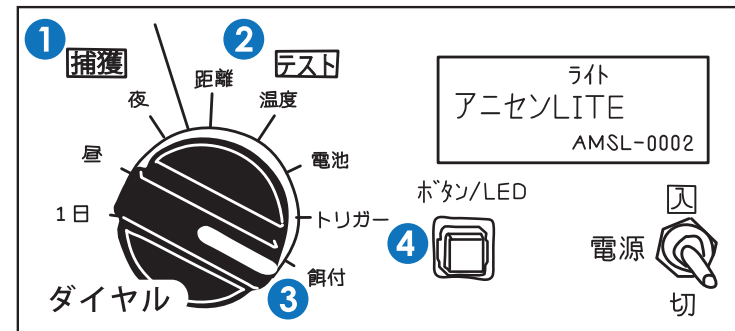


操作・動作方法



ダイヤル変更後は必ず電源を一度切って、入れ直してください

電源を入れなおすことで、変更後の機能に切り替わります



① 捕獲モード

捕獲動作を希望の時間帯に設定します

- 夜 … 夜だけ監視し、反応すれば捕獲
- 昼 … 昼だけ監視し、反応すれば捕獲
- 1日 … 1日中監視し、反応すれば捕獲

※昼夜の状態は光センサーで判断します。
※捕獲モード稼働の際は、④ボタン/LEDが約10秒間点灯します。
※昼モード時は、周囲が暗いと④ボタン/LEDが点灯しません。
※夜モード時は、周囲が明るいとき④ボタン/LEDが点灯しません。

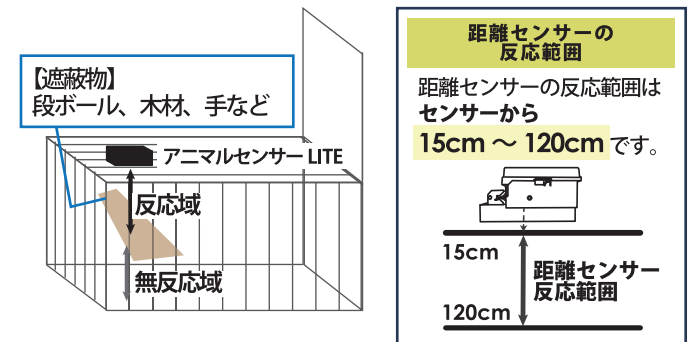
② テストモード

各機能の動作確認、センサー設定をおこないます

● 距離

センサーが反応する距離の確認と設定

1. ダイヤルを「距離」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. センサー下の反応させたい高さに遮蔽物を置く
4. ④ボタン/LEDを長押し「ピーッ」と音が鳴り設定完了
5. 設定後、反応域に遮蔽物をかざすと「ピピピッ」と音が鳴ります。反応がないと音は鳴りません



● 温度

センサーの反応を確認

1. ダイヤルを「温度」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタン/LEDが10秒間点滅
4. 手など温度のあるものをかざし、反応があると「ピピピッ」と音が鳴ります

● 電池

電池の残量を確認

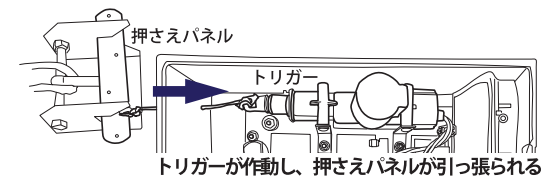
1. ダイヤルを「電池」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタン/LEDを押し、ランプの点滅回数で残量を確認できます

点滅回数	4回	3回	2回	1回
電池残量	満タン	やや満タン	普通	少ない

● トリガー

トリガーの動作を確認

1. ダイヤルを「トリガー」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタン/LEDを押すとトリガーが作動します



③ 餌付モード

餌付け時からセンサーの環境に慣れさせることで、スムーズな捕獲へ導きます

1. ダイヤルを「餌付」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. 餌付モード作動中に、距離センサー・温度センサーに目的の獣が反応した場合、④ボタン/LEDを押すとLEDが点灯し、出没が確認できます

POINT
捕獲ができる場合。捕獲モードに切り替えれば目的の獣を捕獲できる可能性が高まります。

※「餌付モード」は24時間監視状態で電池の減りが早いので、こまめな電池交換が必要です。（1か月に1回の交換が目安）

※万一の場合に備え、作業等でわな内に入る際は、必ず扉（ゲート）のストッパーをかけてください。

餌付けモード*（特許出願中）

- ・24時間センサー監視状態
- ・反応してもトリガーは作動しない

捕獲モード

- ・警戒心のうすれた獣を捕獲

平成29年度農林水産省「野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発委託事業」における兵庫県立大学・三重県農業研究所との共同開発